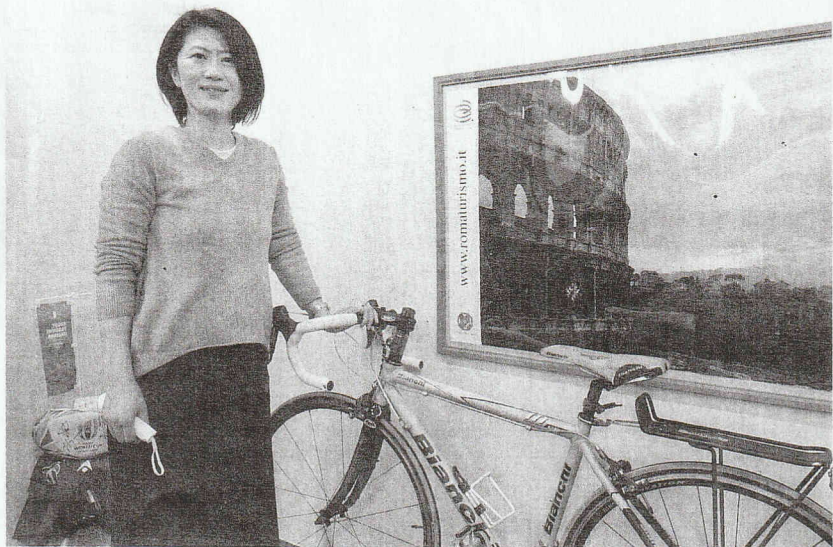


上田で日伊交流文化セミナー 田尻さんイタリア自転車旅語る

日伊協会
長野 野



田尻さんとイタリアを旅した自転車

日伊協会長野（渡辺千洋会長）上田市住吉Ⅱ、会員数80人）はこのほど、第8回「地方からの日伊交流」文化セミナーを、事務局を置く同市海野町のJewelry Saloon ヤジマ（矢島万記子社長）で開催した。

今回は、イタリアで自転車旅をした上田市古安曾の田尻秀佳さん（45）が講師。2003（平成15）年4月から1カ月かけて自転車で行ったイタリア島から首都ローマまで一人旅をした話をした。

旅のきっかけは、マルタ島（マルタ共和国）への3カ月間の語学留学。英語を学んだが語学力が伸びず、現地のおいしい食事で体重も増えてしまい、予定変更でイタリアを自転車で行き各地の料理を堪能する旅に方向転換した。

約1000km離れるイタリアのシチリアへ移動、パレルモで自転車を購入して一路ローマを目指し自転車一人旅を始めた。ティレニア海沿いをローマまで走る行程約1500kmの旅は断崖絶壁の道路を走る旅だったが、観光もしながら日が沈むと安価なホテルやユースホステルなどに宿泊したり時にはホームステイをしながら旅を続けた。

なぜ自転車旅かという、自転車が大好きでイタリアを自分のペースで見たいという女性一人が危険ではとの質問には、イタリアの人は温かく人懐っこい人が多い。ホテルが見つからないときは、気軽にホームステイをさせてくれたと話し、危険を感じたことはなかったという。

旅での大きなハプニングは、旅で一緒にあったドイツの女性と意気投合し、ローマからドイツのベルリンに移動し自転車で行きバルト海を目指した。バルト海に着き、海を見ていた隙に自転車を盗まれてしまったこと。現地の警察が対応してくれて翌日、奇跡的に海辺の小屋で発見されたという。

田尻さんは、埼玉県生れで夫婦で上田にイターンした移住者。講演には、一人旅で使ったイタリアピアンキ製の自転車を持ち込んだ。上田の安定した気候と住みやすさが気に入っており、塩田平は独鈷山、ため池そして別所温泉とサイクリングには最適な場所、専用のサイクリングロードが整備されたら国内、さらには海外からのサイクリスト（自転車に乗る人）も呼び込めるのでは話した。